

# 学 会 だ よ り

2004年4月～2005年3月

## 研究会の開催

### 〈商学部研究会〉

#### 第1回研究会

2004年6月25日(金) 15:30～

3号館3階3310 演習室

報告者 片岡 寛 氏 (一橋大学大学院商学研究科 教授)

テーマ 「商品研究の重要性について ― 技術の進化(イノベーション)と消費の高度化を結びつける商品としての市場研究 ―」

#### 第2回研究会

2004年10月7日(木) 16:00～

G館5階特別会議室 (G-504)

報告者 佐々木冠 氏 (商学部 助教授)

テーマ 「論述・作文のアンケート結果からFDを考える」

報告者 石川千温, 碓井和弘, 北林雅志, 山本 純 氏 (商学部)

テーマ 「私の授業について」

### 〈経済学部研究会〉

#### 経済学部 2004年度第1回研究会

2004年6月3日(木) 17:00～18:30

経済学部研究資料センター (共同研究室)

報告者 大澤俊一 氏 (経済学部 教授)

テーマ 「税の資本と環境を通じた効果」

#### 経済学部 2004年度第2回研究会

2004年10月7日(木) 15:30～17:30

経済学部研究資料センター (共同研究室)

報告者 湯川郁子 氏 (経済学部 助教授)

テーマ 「道東の開拓と集落形成 ― 阿歴内の事例を中心に ―」

経済学部 2004 年度第 3 回研究会

2004 年 10 月 7 日(木) 15:30~17:30

経済学部研究資料センター (共同研究室)

報告者 鏡味秋平 氏 (経済学部 教授)

テーマ 「中国の経済成長と台湾の対中投資」

経済学部 2004 年度第 4 回研究会

2004 年 12 月 1 日(木) 16:30~18:00

経済学部研究資料センター (共同研究室)

報告者 瀬戸岡紘 氏 (駒沢大学経済学部 教授)

テーマ 「アメリカをどうみるか？」

経済学部 2004 年度第 5 回研究会

2005 年 2 月 3 日(木) 15:30~17:30

経済学部共同研究室

報告者 浅川雅巳 氏 (経済学部 助教授)

テーマ 「『生命の再生産』と『人間と自然とのあいだの物質代謝』」

#### 著書・論文・翻訳など

石 井 光：(論文) “Cooperative R&D between Vertically Related Firms with Spillovers,” International Journal of Industrial Organization, Volume 22, Numbers 8-9, pp.1213-1235, November 2004

：(報告書) 「知的財産権の保護の強さが垂直的關係にある企業間の共同研究開発に与える影響」, 『特許庁委託 平成 16 年度産業財産権研究推進事業報告書』, (財)知的財産研究所, 2005 年 3 月

大 澤 俊 一：(論文) 「Effects of Capital Income Taxes and Corporate Financial Policies」(学位論文, 博士 (経済学), 北海道大学) 2004 年 12 月

河 西 邦 人：(論文) 「第三セクターが陥る 4 つの問題」, 『地方自治職員研修 6 月号』, 単著, 公職研, 2004 年 6 月 15 日発行

：(論文) 「NPO の現状と金融機関に期待するもの」, 『信用組合 11 月号』, 単著, 全国信用組合中央協会, 2004 年 11 月 10 日発行

- ：(論文)「地域のマネジメントのイノベーターとしてのNPO」、『NPOが北海道を変えた。』, 単著, インテリジェントリンク, 2004年11月15日発行
- ：(論文)「北の企業家精神」, 『技術と経済』12月号, 単著, 科学技術と経済の会, 2004年12月1日発行
- 久保田 義 弘：(論文)「生産技術の選択と社会的生産関数」札幌学院商経論集 第21巻 3・4合併号, 2005年3月
- 坂 下 紀 彦：(論文)「タイの企業会計制度」札幌学院大学会計学研究所「会計学研究所研究年報」第22号 2003年3月
- ：(共著)「大学教育と会計教育」第2章I. 1.4.5, II. 創成社 2004年9月
- ：(共著)「入門経済分析 三訂版」〔倉田三郎・藤永弘・石崎忠司と共著〕同文館 2005年4月
- 佐々木 冠：(論文) Derived environment effect in the case marking system: a case of the Mitsukaido dialect of Japanese. In Brian Nolan (ed.), *RRG 2004 Book of Proceedings*, 280-294. <http://wings.buffalo.edu/linguistics/research/rrg.html> 2004年11月1日 (単著)
- ：(論文)「水海道方言の無声化と標準語の無声化：最適性理論による分析」『対照言語学の新展開』佐藤滋・中村渉・堀江薫編。ひつじ書房。2004年7月20日 (単著)
- 佐々木 洋：(短評)「ロシア資本主義の原始的蓄積」日口北海道極東研究会機関誌『北海道極東研究会』第80号 (2005年1月) 所収
- 下 島 英 忠：(論文)「分権マネジメント——地域価値向上に向けた新しい多元的マネジメントを求めて——」『札幌学院商経論集』第21巻第1号, 2004年8月
- ：(論文)「マネジメント分析——マネジメント診断とマネジメント能力向上のために——」『札幌学院商経論集』第21巻第2号, 2004年12月
- 邵 藍 蘭：(翻訳)『転換期の中国会計』(共訳者：久野光朗) 同文館, 2004年10月
- ：(論文)「香港における企業会計体制」『札幌学院商経論集』第21巻1号
- 白 石 英 才：(著書) ガリーナ・ロークと共著『ニヴフ語音声資料3——プラグスク——』オランダ学術振興会(NWO) 国際プロジェクト「ツンドラとタイガの声」公刊物(音声CD一枚付き) 2004年12月 発行所：オランダ学術振興会
- ："Folktales of the Saru dialect of the Ainu 3——Ueda Toshi's Uepeker 3——"『千葉大学ユーラシア言語文化論集』7 115-140。2004年8月 発行所：千葉大学ユーラシア言語文化論講座

- ：「ニヴフ語西サハリン方言の民話1」津曲敏郎編『環北太平洋の言語』12，  
111-124 2005年3月 発行所：北海道大学文学研究科
- ：チェールド・デグラーフと共著“Capacity building for some endangered  
languages of Russia: voiced from Tundra and Taiga”. Peter Austin 編  
*Language documentation and description*. ロンドン大学 SOAS 公刊物：  
59-71。2005年3月 発行所：ロンドン大学 SOAS
- 高懸雄治：(紹介)「メキシコ国立自治大学中央図書館」札幌学院大学図書館報『書林』  
(電子版)，第65号，2004年4月1日
- 中村永友：(著書)「文系学生のためのコンピュータ指南書」，ムイスリ出版，  
ISBN 4-89641-104-8 C 3055，(石川千温，渡邊慎哉と共著)，2005年3月
- 播磨谷浩三：(論文)「札幌市における金融市場構造の特性の検証」『札幌学院商経論集』  
第20巻第2号，2004年10月(平澤亨輔氏との共著)
- ：(論文)「信用金庫の経営効率性の計測——non-parametric approach と  
parametric approach との比較——」『金融経済研究』第21号，2004年12  
月
- ：(論文)「信用金庫の効率性と配当政策との関連性の検証」『信金中金月報』  
2005年2月号
- 平澤亨輔：(論文)播磨谷浩三，平澤亨輔「札幌市における金融市場構造の特性の検証」  
『札幌学院大学商経論集』vol 21, No.2 2004年12月
- 藤永弘：(共著)『プロフェッショナル英和辞典スペットベカ(社会科学編)』小学館，  
2004年5月
- ：(編著)『大学教育と会計教育』創成社，2004年9月
- ：(監修)『大学は地域を活性化できるか』中央経済社，2005年3月
- 三木敏夫：(著書)『ASEAN 先進経済論序説——マレーシア先進国への道』(単著)  
(株)現代図書 2005年2月
- ：(論文など) The Present Management Situation of Japanese-related-  
Companies in Malaysia, *Discussion Paper of Faculty of Economics and  
Business, Universiti Kebangsaan Malaysia*. (2005年2月)
- 谷沢弘毅：(著書)『近代日本の所得分布と家族経済——高格差社会の個人計量経済  
史学』日本図書センター，2004年12月
- ：(論文)「大規模港湾開発にともなう苫小牧市の都市形成とその課題」札幌  
学院大学商学会・経済学会編『札幌学院商経論集』第21巻第1号，2004年  
8月

：(論文)「戦後日本の地域振興と北海道——大規模港湾開発にともなう苫小牧市の都市形成とその課題」日本建築学会編『日本建築学会平成16年度大会都市計画部門研究懇談会：資料集』同学会，2004年8月

山田 智 哉：(論文)「正準相関分析による家計の所得と消費の関係」『札幌学院大学商経論集』21巻2号

#### 研究発表・講演など

石 井 光：(研究発表)「知的財産権の保護の強さが垂直的關係にある企業間の共同研究開発に与える影響」，知的財産セミナー(特許庁委託)特別研究員報告会，(助)知的財産研究所，厚生会館(全国土木建築国民健康保険組合)，2005年3月14日

河 西 邦 人：(講演)「コミュニティビジネスによる産業おこし，地域おこし」，平成16年度雇用セミナー，北海道日高支庁，北海道門別町，2004年9月5日

：(講演)「コミュニティビジネスによるまちづくり」，まちづくりセミナー，北海道開発局，札幌市，2005年2月

児 玉 敏 一：(学会活動)第49回日本経営教育学会全国大会，自由論題司会担当，東洋大学，2004年5月29日

坂 下 紀 彦：(講演)「会計の動向と簿記会計」・「企業の財務諸表分析」平成15年度10年経験者研修〔教科指導等研修(商業)〕北海道立教育研究所附属情報処理センター 2004年1月

：(講演)「会計の動向と簿記会計」・「企業の財務諸表分析」平成16年度10年経験者研修〔教科指導等研修(商業)〕北海道立教育研究所附属情報処理センター 2005年1月

：(研究発表司会)「大学における工業簿記・原価計算教育について——企業における原価計算の実態調査から——」渡辺喜久(東海学園大学)，「特殊商品売買取引における記帳方法の検討」前川道生(嘉悦大学)，「業種別にみるわが国法人の自己資本比率と引当金比率の推移」櫻田讓(山口大学)日本簿記学会第20回全国大会(岡山商科大学)2004年8月

：(学会大会記分担執筆)「日本会計研究学会第63回大会報告」日本公認会計士協会「JICPA ジャーナル」Vol.16 No.12 2004年12月

佐々木 冠：(研究発表) Derived environment effect in the case marking system: a case of the Mitsukaido dialect of Japanese. 2004 International Role and Reference Grammar Conference. Institute of Technology, Blanchardst-

own, Dublin. 2004 年 7 月 24 日

佐々木 洋：(報告)「日本経済論講義の統計資料編集」経済教育学会第 20 回松本大学大会 2004 年 12 月 5 日

白石 英才：(研究発表) 学会名：12th Manchester Phonology Meeting, 場所：マンチェスター大学(英国) テーマ：“Base-Identity and the Noun-Verb Asymmetry in Nivkh” 主催団体：イギリス音韻論学会 2004 年 5 月 22 日

：(研究発表) 学会名：TABU-day 場所：フローニンゲン大学(オランダ) テーマ：“On the asymmetry in the laryngeal contrast of Nivkh” 主催団体：フローニンゲン大学認知科学センター (CLCG) 2004 年 6 月 4 日

：(研究発表) 研究会名：ULCL Phono-meeting 場所：ライデン大学(オランダ) テーマ：“Asymmetric Specification in the Laryngeal Contrast of Nivkh” 主催団体：ライデン大学文学部言語学科音韻論講座 2004 年 12 月 2 日

：(研究発表) 研究会名：University of Groningen Phonology meeting 場所：フローニンゲン大学(オランダ) テーマ：“Asymmetric Specification in the Laryngeal Contrast of Nivkh” 主催団体：フローニンゲン大学文学部音韻研究会 2004 年 12 月 10 日

：(研究発表) 研究会名：ULCL Phono-meeting 場所：ライデン大学(オランダ) テーマ：“Prominence-driven glide formation in Ainu” 主催団体：ライデン大学文学部言語学科音韻論講座 2004 年 12 月 16 日

：(研究発表) 学会名：2nd Old World Conference on Phonology (OCP2), 場所：トロムソ大学(ノルウェー) テーマ：“Asymmetric Specification in the Laryngeal Contrast of Nivkh” 主催団体：OCP(欧州音韻論学会) 2005 年 1 月 20 日

：(研究発表) 研究会名：ULCL Phono-meeting 場所：ライデン大学(オランダ) テーマ：“Consonant Alternation in Nivkh” 主催団体：ライデン大学文学部言語学科音韻論講座 2005 年 2 月 17 日

：(研究発表) 研究会名：University of Groningen Phonology meeting 場所：フローニンゲン大学(オランダ) テーマ：“Consonant Alternation in Nivkh” 主催団体：フローニンゲン大学文学部音韻論研究会 2005 年 2 月 24 日

：(講演) 講義名：言語学演習 場所：北海道大学文学部 テーマ：「言語学

における音声資料の活用」 主催団体：北海道大学文学部北方文化論講座  
2004年7月13日

：(講演) 研究会名：北東アジア次世代ワークショップ 場所：北海道大学ス  
ラブ研究センター テーマ：「サハリンの消滅の危機に瀕する諸言語をフィー  
ルドワークする」 主催団体：北海道大学スラブ研究センター 2004年7月  
17日

高懸雄治：(講演)「燃えるラテンアメリカ——収奪の大地から変革の大地へ——」,  
第6回SGUフォーラム, SGUホール, 2004年9月28日

中村永友：(学会発表)中村永友, 上野玄太, 樋口知之, 小西貞則(2004), 欠損混合  
分布モデルとその応用, 2004年度日本分類学会研究報告会, 東洋英和女学  
院大学大学院, 東京, 2004.12.17

：(学会発表)金子真紀子, 水沼俊美, 中村永友ほか6名(2004), 日本人女  
性と中国人女性の味覚感度の比較, 第58回日本栄養・食糧学会大会,  
2004.5.21-23, 東北大学

畑山紀：(研究発表)「非営利法人への寄附金」(非営利法人課税研究特別委員会最終  
報告「非営利法人課税の総合的研究」の担当分) 税務会計研究学会第16回  
大会〔熊本学園大学〕2004年10月2日

：(シンポジウム・コーディネーター)「分科会3 融資審査と融資後のフォ  
ローアップについて」第1回NPOバンクフォーラム〔札幌エルプラザ〕2004  
年7月17日

：(シンポジウム・パネラー)「新しい公益の担い手であるNPOに対して公認  
会計士が果たすべき役割」第25回日本公認会計士協会研究大会〔ロイトン  
札幌〕2004年7月21日

播磨谷浩三：(研究発表)「わが国信託銀行業の貸出行動における特性——銀行勘定貸し  
と貸出金との関連性についての検証——」日本金融学会2004年度春季全国  
大会, 神奈川大学, 2004年5月15日

：(研究発表)「わが国銀行業における会計基準と経営効率性との関連——90  
年代後半における銀行会計規制の変遷とその影響——」日本経済政策学会  
第61回全国大会, 関西学院大学, 2004年5月30日

：(研究発表)「わが国証券業における費用構造の変化の検証——大手証券と  
オンライン証券との比較——」第2回MMESI (Kobe Summer Institute  
in Modern Monetary Economics), 2004年8月29日(奥山英司氏との共  
同研究)

- : (研究発表)「信用金庫の効率性と配当政策との関連性の検証」第2回 MMESI (Kobe Summer Institute in Modern Monetary Economics), 2004年8月29日
- : (研究発表)「信用金庫の合併選択とガバナンス」シンポジウム『協同組織金融機関の現代的意義とガバナンス』, 札幌すみれホテル, 2004年11月26日 (家森信善氏との共同研究)
- : (研究発表)「信用金庫の合併選択の背景とその効果の検証」日本金融学会北海道部会, 小樽商科大学・札幌サテライトホール, 2004年12月11日 (家森信善氏との共同研究)
- 藤 永 弘 : (研究発表) 全国四系列教育会議第21回全国大会 (於: 千葉商科大学)「現代社会の多様な「会計力」育成要求に対応した大学の会計教育方法を考える——大学・大学院および社会人教育の実践から——」 2004年8月30日
- : (講演) 国税庁札幌研修所「日本の会計制度の動向」2004年5月19日, 6月11日, 11月10日, 12月9日 「企業会計の概要」2004年9月14~15日
- : (司会) オフィス・オートメーション学会 48 全国大会 (於: 駿河台大学) 「VDM-S1 と MGST アプローチの比較——新しいシステム開発論」千葉工業大学 高原康彦 2004年5月15日
- : (司会) 日本会計研究学会第63 全国大会 (於: 中央大学)「存続能力に問題がある企業の監査における監査人の判断についての一考察」同志社大学大学院生 矢部孝太郎 「戦略的管理会計情報の利用に対する PEU と組織文化の影響」中央大学大学院生 岸田隆行 2004年9月10日
- : (司会) フィス・オートメーション学会第49 回全国大会 (於: 久留米大学) 「市町村合併における情報システム統合の実態と課題」摂南大学 久保貞也, 島田達巳 2004年9月19日
- 三 木 敏 夫 : (研究発表)「プミプトラ政策と日系企業の経営」アジア政経学会 2004 年度全国大会 (場所: 東北大学, 開催日: 2004年10月30日, 31日)
- 光 武 幸 : (研究発表)「観光地釧路地域の差別化ポイント構築について」総合観光学会第7 回大会, 長野県小布施町役場 2004年11月
- : (講演)「Spa resorts in Hokkaido」, Spa Symposium, Chiang Mai, Thailand 25<sup>th</sup> Dec. 2004
- 谷 沢 弘 毅 : (研究発表)「戦間期家計調査における就業分類の変遷——東京圏低所得労働市場のイメージ構築」2005年1月24日に, 一橋大学経済研究所で開催された「第38 回統計制度研究会」(21 世紀 COE Hi-Stat セミナー・シリーズ)



において発表

- : (研究発表) 「戦間期東京圏の低所得労働市場：イメージの再構築」 2004 年 12 月 25 日に、東京経済大学で開催された「第 3 回日中経済研究会」において発表
- : (研究発表) 「戦後日本の地域振興と北海道 —— 大規模港湾開発にともなう苫小牧市の都市形成とその課題」 2004 年 8 月 30 日、北海道大学で開催された日本建築学会大会の都市計画部門懇談会『北海道の都市形成と再生・再編』において発表